

支援プログラム



自分らしく楽しく過ごせる毎日を、ここから

支援方針 うまくできるより、うまくやっていける力を

大切にしている5つのこと

- ①ちがいを いかす
- ②こころがほぐれる場所に
- ③じぶんのペースで
- ④かかわりがうまれるように
- ⑤育ちをいっしょにたのしむ

ゆっくり育つ力を信じ、社会につながる練習の場となるよう、一人ひとりのペースによりそい、時間と手間をかけて見守っていきます。

本人支援

健康・生活

みんなで楽しく過ごしながら生活に必要なスキル(衣服の着脱・トイレ等)を身につけていきます

運動・感覚

リトミックやサーキット遊び、ボールやフラフープ等を用いた活動で自身の身体の使い方を理解して全身運動で体感(バランス)、五感を育んでいきます

認知・行動

「ちょっとやってみようかな(チャレンジ)」「なんかたのしい!」等経験してからの気持ちや言葉の表出を積み重ねていきます

言語・コミュニケーション

自己理解を深め、自分の気持ちの伝え方をしっていくと共に「どう思っているのかな?」等、他者理解をする気持ちを経験していきます

人間関係・社会性

年齢も特性もできることも違う他者と過ごす中で楽しく生きるために必要なかわり方を自分なりにためし、身につけていきます

家族支援

ご家庭からのニーズに合わせながら、対面・オンライン等様々なかたちで随時面談を実施し、保護者様の気持ちに寄り添いながらお子様の理解をともに深めます。

また、家族やきょうだいに關しての相談、子育てのお手伝いをします。

移行支援

「できるようにする」よりも、「やっていける力を持って次へ進む」ことを大切にしています。

小さな成功体験や安心できる関わりを積み重ねながら、その子のペースで社会へつながっていくお手伝いをします。

地域支援

各関係機関と連携し、本人やご家族が安心して過ごせる環境づくりに努めます。

職員の質の向上

外部・内部にての定期的な研修を実施します。また随時のミーティングにて支援やサポート、活動等出来事の共有をします。

